

夕刊



行發日七十二月二

に親しみしと傳へられる。即ち「百戦無功半歳間、首即ち返家山、笑談向死好仙客、盡日洞中棋盤閑」の詩は洞中の賦として岩壁に貼付しありしと云ふ。

沖繩から

生

鹿見島といへば直ぐ西郷木草の配置もなく、僅かに南洲と城山とを聯想する。高麗産の生垣を繞らした其の東をこて鹿見島觀光のコース一隅に懸念たる樞の老樹が南洲の遺蹟を探ることを二三本葉つてゐるだけ、が目下縣立病院として往時先きに先した。

順序として先づ南洲が成り成して桐野、村田等の諸名無数の彈痕が印せられてゐる。只敢地の基礎石垣が八ツ手葉に雨見窓や春寒し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

春の感觸（餘寒）平屋子 環もなく火鉢抱きし餘寒哉。 餘寒向去らず玻璃戸に追る冷客去りて餘寒の扉閉し。

新妻久満夫選

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

赤き月、石川、久満夫、夕ぐせにせよと呼び聲なり戸を開ければ、おんがしの空赤き月のぼる。

山ノ怪秘

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

戸隠山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。



揚士入選文

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

揚士入選文、第二、大嶺、悦子、第二、大嶺、悦子。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

大久保彦左衛門近二月ほど腰を落ちて、元治一六、△天革た。

山ノ怪秘

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

山ノ怪秘、丸山寛雄作、真木浪書。

小児科

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

小児科、平町南町五〇番地、志賀醫院。

体温計の検査日です

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

体温計の検査日です、西村屋薬局。

日本石油株式會社特約店

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

日本石油株式會社特約店、關影商店平支店。

磐城共済病院

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

磐城共済病院、福島縣平町、電話六四二番。

釜屋商店

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

確實敏捷は人の生命なり

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

確實敏捷は人の生命なり、釜屋商店。

釜屋商店

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

釜屋商店、磐城國平町五丁目、電話九番九九番。

野暮な廢止論として

顧みなかつた一昔前

今では中央の輿論に迄達せられて

行く

氣息奄奄 残の喘ぎを見 せ乍らも澎湃 たる時代のう

紅燈

しほに押し流されまいとし て、健気に踏ん張り續けて 居る平町鎮田の同業者もそ の一体となつて居る福島市 一本杉町青木久松師範の公 娼制度存置に關する件は、 娼娼反對の他の諸願と一括 して二十六日衆議院請願委 員會第二分科に上程された が、賛否兩論對立して相當 研究を要するため委員會總 會に附議決定することとな った、斯程に氣を挫かされ られる昨今の五色町遊廓こ そ、曾てその華やかかりし 頃を憶へば、其間また禁ず 難い早春の感傷を感らる。 には居られぬのが、ある。 而も五年、七年、十年の 昔に遊れば時の所謂廢娼論 などは蓋し人間離れのした 一部遊學者の固陋な議論と して顧みられなかつたもの である。

難所大工町踏切の 照明装置改善

平驛の交通防止施設

難所大工町踏切の照明装置改善 平驛の交通防止施設 難所大工町踏切の照明装置改善 平驛の交通防止施設 難所大工町踏切の照明装置改善 平驛の交通防止施設

文化空 近く英獨へも 通話開始か

平局の國際的動き

文化空 近く英獨へも 通話開始か 平局の國際的動き 文化空 近く英獨へも 通話開始か 平局の國際的動き

夏井川に附帯して 古川改修に絶望

東北振興會に俟つのみ 青沼町長運動經過談

夏井川に附帯して 古川改修に絶望 東北振興會に俟つのみ 青沼町長運動經過談 夏井川に附帯して 古川改修に絶望 東北振興會に俟つのみ 青沼町長運動經過談

自町の美化を急ぎ 地元民張り込む

實現容易な新土木事業

自町の美化を急ぎ 地元民張り込む 實現容易な新土木事業 自町の美化を急ぎ 地元民張り込む 實現容易な新土木事業

公園、博覽會場等 簡易保險大宣傳

花季を當て込む平局

公園、博覽會場等 簡易保險大宣傳 花季を當て込む平局 公園、博覽會場等 簡易保險大宣傳 花季を當て込む平局

時代に適應して 機構を整備

十年度に増員人員費計上

時代に適應して 機構を整備 十年度に増員人員費計上 時代に適應して 機構を整備 十年度に増員人員費計上

ウインド破りか

第一、第二兩校荒し 無賃乗車で捕はる

ウインド破りか 第一、第二兩校荒し 無賃乗車で捕はる ウインド破りか 第一、第二兩校荒し 無賃乗車で捕はる

高久の砂丘から 土石器類を發掘

考古學上新資料提供か

高久の砂丘から 土石器類を發掘 考古學上新資料提供か 高久の砂丘から 土石器類を發掘 考古學上新資料提供か

名勝地回答

舊案内資料に 關する管内各所所長答

名勝地回答 舊案内資料に 關する管内各所所長答 名勝地回答 舊案内資料に 關する管内各所所長答

名鑑 夕の賞

四月 世界 館

名鑑 夕の賞 四月 世界 館 名鑑 夕の賞 四月 世界 館

江名築港人夫の 傷害致死豫審終結

近く平支部で公判

江名築港人夫の 傷害致死豫審終結 近く平支部で公判 江名築港人夫の 傷害致死豫審終結 近く平支部で公判

傳貧馬檢診 石城産 馬畜産組合は左記日割で

傳貧馬檢診 石城産 馬畜産組合は左記日割で

傳貧馬檢診 石城産 馬畜産組合は左記日割で 傳貧馬檢診 石城産 馬畜産組合は左記日割で

三十回生徒募集

非常時の女性に促す 婦人職業の促進に 産婆看護婦を御選り下さる

三十回生徒募集 非常時の女性に促す 婦人職業の促進に 産婆看護婦を御選り下さる

平南町 産婆看護婦 募集

△申込み成るべく早く △新年度の開始は四月八日より

平南町 産婆看護婦 募集 △申込み成るべく早く △新年度の開始は四月八日より

久シク安値ニ低迷 シタ株式

買仕込ミノ好機トナレリ 此處株式

久シク安値ニ低迷 シタ株式 買仕込ミノ好機トナレリ 此處株式

角治株式会社

御次第第店員參上致シマス。

角治株式会社 御次第第店員參上致シマス。

石城産科婦學校

修業年限 産婆を通じて一ケ年

石城産科婦學校 修業年限 産婆を通じて一ケ年

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門 鈴木 正 男

鈴木醫院 耳鼻咽喉科専門 鈴木 正 男

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門 鈴木 正 男

鈴木醫院 耳鼻咽喉科専門 鈴木 正 男